数ⅡVSアスケード仮面様

（アスケード仮面様といわれると足助先生×５月歳の村上クンのコスプレという感じがして面白いですよね。）

　要旨

これは試験の傾向と大体の予想であんまり当てになりません。正直。

　試験の傾向

今手元にテスト２００８、２００７、２００４（足助先生）がありますが、出題分野は大体３つ（よく考えたらこんなにも範囲は狭いのか！）

1. 行列式の計算と逆行列の有無＆計算。３，３行列が多いですね。

足助先生の場合基本変形で分数が混じることはないですね。最適な変形が見抜ければしゅぴぴっと終わらせられます。

1. 連立一次方程式の解を求める、未知数xyzのほかにαなんかがあって「解が存在するためのαの条件と解をもとめよ。」なんてのがオーソドックスです。やっぱり三次。
2. 線形空間。

線形空間は概念的にはとっつきにくいですが、問題を作るとなると典型的な（習熟すればしゅぴぴっ）問題ばかりになるようです。この辺りはほぼすべて証明です。

証明は形式が大切なので問題を解いて慣れましょう。証明したい事柄に応じてステップがいくつかありますから、一つ一つ解きながら覚えましょう（部分線形空間の証明、線形写像の証明、線形同型写像の証明）

今回の試験で難問になるとしたら、一次独立と行列式の組み合わせあたりでしょうか？（２００７第４問）行列が正則になる条件はいくつかありますから是非とも覚えておきたいですね。

点を取るにはどうしたらいいんでしょう？？

もう始めて理解してる。（明戸クン豊村クンパターン）

→ぐっじょぶ。問題なし。シケプリ作ってね。

今から始める。

→オーソドックスな教科書であれば、８月中に終わるでしょう。練習問題を解きながら進めれば不可はありえないかなと。

来週から始める

→基本変形から始めて行列式の計算までできるようにしましょう。線形空間から始めても（線形空間の章は線形代数の教科書を見ても少し抽象的で行列いじりが出にくいので）問題はないでしょう。むしろ形式的なのでこちらのほうが点が取りやすいかもしれません。

テスト一日目終わってから始める

→恐ろしい夢を見たと思って忘れましょう。他クラス聴講の問題見たら恐ろしく簡単でした。来年挽回！！

質問があればメールまたは駒場にいるのを捕まえて。基本的に図書館にいますから。でもあけちょサンのほうが質問するにはいいかも。だってなんだかんだで至れり尽くせりしてくれる人だから。

武器

「線形代数入門」（斎藤正彦）これ使って勉強しましたけど、かなり論理的で分かりやすい。演習問題が少ない＆問題が硬派すぎて定期テストって感じじゃない。のが難点かな。

「2008 S1-36」足助先生が担当だったクラスのページです。２００７過去問２００４過去問シケプリが置いてあります。

あと

過去問２００９、過去問２００５見つけた方いますか？見つかったら連絡ください。ぼくの試験対策と↑の分析にも使います。

生命科学の池内先生の過去問ってないですかね。誰かアップしてほしいな。生命科学は前ばらし問題ってあるんですか？まだヘテロクロマチンが凝縮しているあたりです。